



令和3年12月1日
水管理・国土保全局
水資源部水資源政策課

「水の里の旅コンテスト 2021」受賞企画決定！

国土交通省が実施する「水の里の旅コンテスト2021」について、水の里を観光資源とした「旅の企画」を募集し、今般、全国から応募のあった中から最優秀賞をはじめとする8つの受賞企画を決定しました。

受賞者への表彰式は、12月23日（木）に開催しますのでお知らせします。なお、表彰式では受賞者によるプレゼンテーションを行う予定であり、どなたでもWEB傍聴ができます。

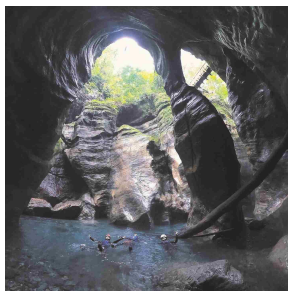
国土交通省では、水の里の観光資源を活用した「旅の企画」の表彰を通じて、水の里の大切さと魅力を伝え、地域の活性化を推進することを目的に、平成22年度より「水の里の旅コンテスト」を実施しております。

今年度のコンテストは、「一般部門」では、魅力的で吸い込まれてしまいそうなほど美しい仁淀ブルースポット『中津渓谷』を中心に様々な角度から仁淀川を楽しめる個人旅行プランを企画した前田奈帆子氏が最優秀賞を受賞しました。

また、「学生部門」では、親水都市を意味するアクアトピアとして指定された『水の都市・西条』で地元高校生のガイドとともに水をめぐる観光ツアーを企画した TeamSSS(愛媛県立西条農業高等学校)が最優秀賞を受賞しました。

※受賞企画一覧は別紙参照。

受賞企画の内容はHP (<http://mizunosato-ouen.jp/tabi/awarded/>) に掲載します。



一般部門最優秀賞 前田奈帆子氏 キャニオンングツアー



学生部門最優秀賞 TeamSSS(愛媛県立西条農業高校) 弘法水

【表彰式の概要】

- 日時：令和3年12月23日（木）13:00～15:00
- 会場：中央合同庁舎第3号館8階特別会議室（千代田区霞が関2-1-3）
- 主な内容：講評、賞状授与、「旅の企画」のプレゼンテーション
- 一般傍聴及び取材の申込先：hqt-suigenchiiki.shinko★gxb.mlit.go.jp ※「★」を「@」に置き換えてください。
本文に「氏名（ふりがな）、所属名、電話番号、電子メールアドレス」をご記入の上、
12月17日（金）17時までにお申し込みください。
 - ①一般傍聴：新型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点から、一般傍聴はWEB配信とします。
傍聴をご希望の方は、件名を「水の里の旅コンテスト2021 WEB傍聴希望」とし、
電子メールにてお申し込みください。事前に傍聴用のアドレスを送付します。
 - ②取材：会場でのカメラ撮り・傍聴及びWEB傍聴ともに可。
取材をご希望の方は、件名を「【取材】水の里の旅コンテスト2021表彰式」とし、
電子メールにてお申し込みください。
- 今後の新型コロナウイルスの感染状況等により、予定を変更する場合があります。その際は、改めてお知らせします。

【問い合わせ先】

水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課 手金（てがね）、田中（たなか）

代表：03-5253-8111（内線31323、31325） 直通：03-5253-8392 FAX：03-5253-1581

【水の里の旅コンテスト 2021 受賞企画】

賞		受賞者	旅行地域
一般部門	最優秀賞	前田 奈帆子	高知県
	優秀賞	埼玉県企画財政部土地水政策課	群馬県
	奨励賞	エアポートトラベル株式会社	千葉県・茨城県
学生部門	最優秀賞	TeamSSS (愛媛県立西条農業高等学校)	愛媛県
	優秀賞	明治大学政治経済学部木寺ゼミナール	静岡県
	奨励賞	青森県立十和田西高等学校	青森県
特別賞「絶景賞」		前田 奈帆子	高知県
		明治大学政治経済学部木寺ゼミナール	静岡県
特別賞「観光庁観光資源課長賞」		青森県立十和田西高等学校	青森県
特別賞「インバウンド賞」		桜美林大学渡邊ゼミ	東京都・千葉県
特別賞「プロモーション賞」		東洋大学国際観光学部国際観光学科杉本ゼミ	静岡県

【一般部門】

一般部門 最優秀賞 / 特別賞「絶景賞」

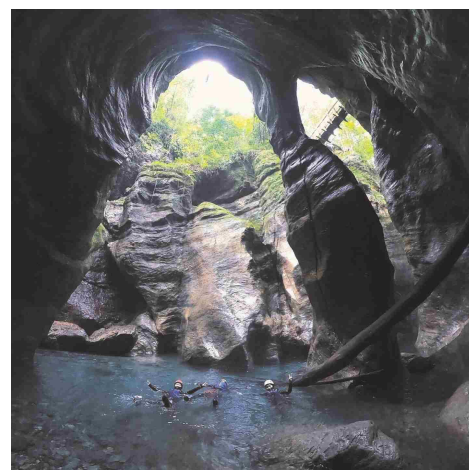
前田 奈帆子

『全身で体感する仁淀ブルー

～仁淀川流域の暮らしと食、自然と文化を巡る旅～』

<高知県(仁淀川町・越知町・日高村・いの町)>

魅力的で吸い込まれてしまいそうなほど美しい仁淀ブルー
スポット『中津溪谷』を中心に、様々な角度から仁淀川を
楽しめる個人旅行プランです。



(【一般部門】講評)

地域資源の掘り起こしと活用の事例として、出色のプログラムだと思います。

当地の名所をしっかりとめぐったうえで、魅力ある宿に宿泊し、地元的美食を味わうことができるため、旅行者の満足度は非常に高いのではないのでしょうか。

また、ある程度の高所得者層をターゲットにできると思いましたので、実現すれば地域の収入につながり、持続可能なプランになるのではないかと考えます。

(【特別賞「絶景賞」】講評)

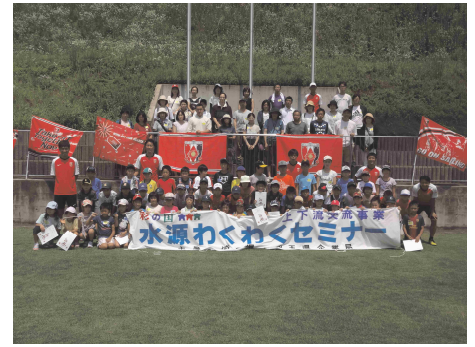
仁淀ブルーのインパクトは SNS でもとても強く、それを中心に、体験や食に繋がられるのはユーザーに刺さりやすいと思います。ただ個人旅行のプランのため、誰がどのように水の大切さを伝えていくのか、その視点が欠けていたように思いますので、仁淀川の「水」の繋がりが活かされるようブラッシュアップを期待します。

一般部門 優秀賞

埼玉県企画財政部土地水政策課

『水源地域との交流事業 水源わくわくセミナー』
＜群馬県（長野原町（ハッ場ダム周辺地域））＞

水や緑が豊かな長野原町を中心としてハッ場ダムの見学や地元小中学生との交流を通じて水源地域への理解を深められる、小学生親子向けのツアーです。



（講評）

地元サッカークラブとの連携、クイズ大会など、もともと水に興味を持っていない子どもでも十分に楽しみ、「水」について理解を深めることができるツアーを実際に実現しているところが高く評価できます。

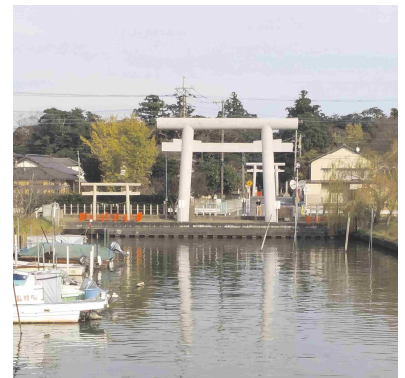
また、水源地域の上下流で交流を図るなど、『自分たちが当然のように使っている水』、『自分たちの村から供給している水』がどのように供給され、どのような場所で使われているかというストーリーを感覚的に体感することができるのもよいと思います。この事業の展開方法を是非全国の自治体にも学び、催行してもらいたいです。

一般部門 奨励賞

エアポートトラベル株式会社

『悠久の魅力 水郷与田浦 神々の里^{いきす やしろ}息栖の社へ船でめぐる
日本三霊泉に数えられ 1000 年湧きつづける
最古のカタチの井戸『忍潮井』^{おしおい}男瓶、女瓶』
＜千葉県（香取市）、茨城県（神栖市）＞

絶景の無人駅「JR 鹿島線十二橋駅」から始まる水郷の原風景を船で巡り、非日常的空間を楽しめる日帰りプランです。



（講評）

地域資源を見つめなおすツアーとしてとても良い。地域密着でツアーづくりをする旅行会社の取組として、素晴らしい挑戦だと思います。

船での周遊は川面からの水郷風景を堪能出来るのではないのでしょうか。また、井戸がご神体という息栖神社、海水面域から湧出したとして「忍潮井」と名付けられたという井戸などを巡って見聞するのは興味深いツアーになるでしょう。

【学生部門】

学生部門 最優秀賞

Team SSS（愛媛県立西条農業高等学校）

『古代からの贈り物
～名水「うちぬき」をめぐる旅 in 西条～
名水が都市づくりのカギを握る西条市』
＜愛媛県（西条市）＞

親水都市を意味するアクアトピアとして指定された『水の都市・西条』で、地元高校生のガイドとともに水をめぐる観光ツアーです。



（講評）

「うちぬき」の魅力を伝えながら同時に西条市を余すところなく巡るツアーで非常に完成度の高い旅行だと思います。

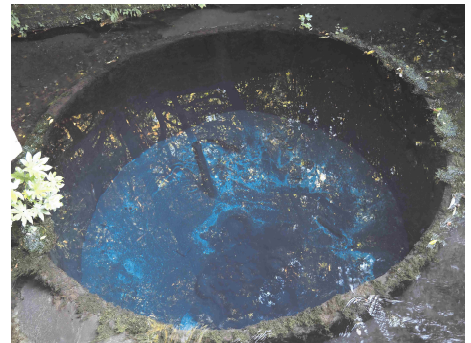
歴史的なストーリーのある水資源を中心にしつつ、それ以外にも鉄道歴史や食、プラネタリウムなど地域の魅力を他の視点からも伝え、老若男女の旅行者が、学びながら十分に楽しめる企画となっており、地元の高校生が現地で案内するというコンセプトも非常に良いと感じました。

学生部門 優秀賞 / 特別賞「絶景賞」

明治大学政治経済学部 木寺ゼミナール

『みしま ecotourism(みしまへ行く～ツーリズム)
～人と水の可能性を感じる旅～』
＜静岡県（三島市）＞

東京都心の小学生をターゲットに、『水の都』三島市で「水の軌跡」を辿るエコツーリズムを体感できるプランです。



（【学生部門】講評）

SDGsの啓発普及活動から、子どもたちの水辺環境や河川に対する関心の薄いことを知ることからの企画の出発や、子どもたちの習い事市場の調査、オプションプログラムの事業化が可能ではないかとの『稼ぐ視点』を加えての企画の狙いが良いと感じました。

富士山やジオパークのもたらす大きな資源循環を、水とそこに結びついた生業に着目して捉えている点、またこのダイナミズムと持続可能性の重要性をストーリーに活かし、観光コンテンツ化している点が優れています。水辺環境や生態系等について青空教室形式で学べることは、将来の地域づくりを担う子供たちに記憶に残る原体験を提供するものになるのではないかと思います。

（【特別賞「絶景賞」】講評）

事前調査やターゲット設定が綿密に行われていて、素晴らしいと思いました。私も三島は行ったことがあります。地域の方の努力で水源の美しさが復活したことは知らず、静岡でも知らない人が多いと思います。博物館等で見ただけでなく、フィールドワークもあることで一層深い体験になるツアーだと思い、選定しました。

学生部門 奨励賞 / 特別賞「観光庁観光資源課長賞」

青森県立十和田西高等学校

『水の里TOWADA ～秘められた水の歴史～』
＜青森県十和田市＞

水の里として潤うまでの十和田市の歴史を紐解き、開拓に尽力した人々に想いを馳せつつ、自然を思いっきり楽しみながら歴史を学べるツアーです。



（【学生部門】講評）

観光地の十和田湖でもなく、奥入瀬でもなく、この地で新渡戸三代にわたる稲生川開設という偉業を、本コンテストを通じて広く理解を広めることができれば良いと思います。基本的な調査をされ、校内向けに催行されていることも心強く感じました。

さらにこれまでの調査研究活動の成果ともいえる、高校生の皆さんがガイド役で回ってもらえるというのは、参加者にとってより深く理解を深める機会になるでしょう。

（【特別賞「観光庁観光資源課長賞」】講評）

地域の今の生業と水などの自然資源との関わり、そこに至る歴史や地域人の生き方などに着目し、深い顧客体験をもたらそうとトライする野心的取り組み。生徒さんが英語対応でガイドしてくださるアイデアは素敵です。こういった観光コンテンツを更に活かしていくことで、地域の食や産品、文化が、国内外に一層広く理解され、世界でそこにしかない地域の魅力が伝わることを期待しています。

【特別賞】

特別賞「インバウンド賞」

桜美林大学渡邊ゼミ

『水が運んだ歴史と文化を感じる二日間
～江戸優り佐原にタイムトリップ～』
＜東京都（中央区、墨田区）、千葉県（野田市、香取市）＞

川と水運が作り出した美しい文化やゆかりの食に触れて、「川」の恩恵を再認識できる旅行プランです。



出典:水郷佐原観光協会

（講評）

日本の伝統文化を深く知りたいという欲求は、外国人が日本を旅行先に選ぶ際の重要な動機のひとつです。ご提案では、水運をテーマに、舟めぐりなどのアクティビティや古民家での滞在を織り交ぜて、楽しく日本の文化に触れることができ、大変魅力的な行程を作成いただいたものと思います。

特別賞「プロモーション賞」

東洋大学国際観光学部国際観光学科杉本ゼミ

『水とともに生きる街 三島』
＜静岡県（三島市）＞

『水の都』三島で水資源のもつ多様な魅力を、様々な角度から存分に体験することのできる日帰り旅行プランです。



プロモーション動画は、QRコードからご覧いただけます。
(YouTubeリンク)

（講評）

三島市の自然を動き有り水の美しさを実感できる綺麗なプロモーション動画になっており、臨場感も味わえて非常に良い印象が残りました。旅程を含めてですが、もう少し地元の人と触れ合う場面等があればより魅力的になるのではないかと思います。

「水の里の旅コンテスト 2021」 審査委員

一般部門、学生部門の審査

- 阿部 沙織 株式会社全旅 営業推進本部旅行・営業部 IT 事業推進室係長
- ◎ 安藤 周治 特定非営利活動法人ひろしまね理事長
- 大澤 健 国立大学法人和歌山大学経済学部教授
- 季武 千早 一般社団法人全国旅行業協会 経営調査部主任
- 杉野 正弘 公益社団法人日本観光振興協会 事業推進本部 地域ブランド創造部長
- 星 明彦 観光庁 観光地域振興部 観光資源課長
- 石川 亨 国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課長

特別賞「絶景賞」の審査

- 詩歩 株式会社 Casket 代表取締役
「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」プロデューサー

特別賞「観光庁観光資源課長賞」の審査

- 星 明彦 観光庁 観光地域振興部 観光資源課長

特別賞「インバウンド賞」の審査

- 福富 茂 日本政府観光局（JNTO）地域連携部 地域連携担当部長

特別賞「プロモーション賞」の審査

- 阿部 沙織 株式会社全旅 営業推進本部旅行・営業部 IT 事業推進室係長
- ◎ 安藤 周治 特定非営利活動法人ひろしまね理事長
- 大澤 健 国立大学法人和歌山大学経済学部教授
- 季武 千早 一般社団法人全国旅行業協会 経営調査部主任
- 杉野 正弘 公益社団法人日本観光振興協会 事業推進本部 地域ブランド創造部長
- 石川 亨 国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課長

◎：委員長